



みくも

No. 6

令和7年(2025年)10月1日

湖南市立三雲小学校

TEL 72-0025 児童数528名

校長 鈴木 朋美

ICTの「普段使い」による教育活動の推進をめざして

今年度、三雲小学校は、文部科学省の「リーディング DX スクール事業」の指定校となっています。「リーディング DX スクール事業」とは、GIGA スクールの標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を十全に活用し、児童生徒の情報活用能力の向上を図りつつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や校務 DX を行い、全国に事例を展開する事業です。

令和の日本型学校教育を謳った中央教育審議会答申(令和3年1月)では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」というキーワードを掲げ、これらを「一体的に充実」させることを求めています。児童生徒の学び方は一人ひとり異なってもよく、どんな学び方が「最適」かというのは自分の意思で決めるということです。また、他者の学びが可視化され、いつでも他者参照ができるクラウド環境によって、自然と生じる協働性と、協働を踏まえて自分の学びを更新していくといった学びが期待されています。

本校では指定を受け、GIGA 端末という新しい環境における授業改善に取り組んでいるところです。ICT を効果的に活用し、授業改善が行えるよう、定期的に短時間で教員ミニ研修も実施しています。また、端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実に向けて準備や取組を進めています。

9月18日(木)の4校時には、リーディング DX 公開授業を行い、東は静岡県、西は福岡県から来校された多くの先生方に、1年生・3年生・6年生の授業を参観していただきました。午後の全体会では、本校の様々な取組を紹介しました。

これからも、令和時代の文房具としての1人1台端末とクラウド環境を高い頻度で活用し、児童が学習を自己調整しながら問題を発見・解決する能力を磨いていくこと、そして、私たち教師は、便利なツールはどんどん使い、生まれた余裕を子どもたちのために使っていくことにチャレンジしていきたいと思っています。

1年生 国語科

自分が調べた「かくれんぼする生き物」について説明する様子を端末を使って動画撮影し、「しゃべる図鑑」を作成します。気分は YouTuber?!2年生に見てもらうのが楽しみです。

3年生 国語科

「自分の取り扱い説明書」を書くためにマッピングして作ったメモをクラウドで共有。端末を使えば友だちがどんなことを書いているか一目でわかります。さらに詳しく書けるようにアドバイスをもらいます。

6年生 国語科

「オリジナル短歌」を作成するために、絵から考えられる言葉を集めます。自分だけでは思いつかないような言葉が、友だちからたくさんクラウドにあがってきます。協働を踏まえて自分の学びが更新されます。



自分たちで使いやすい運動場に

夏休みの間に、運動場にはたくさんの草が生え、遠くから見るとまるで芝生の運動場ようになっていました。そんな様子を見て、たくさんの子どもたちが、休み時間に進んで草抜きをしてくれました。

おかげで、あれだけ青々としていた運動場があっという間に元通りになり、運動しやすい場所になりました。本当にありがたかったです。これからも、様々な場で、子どもたちが気づき、考え、行動する姿が見られることを期待しています。



実りの秋～5年生 稲刈り体験～

5年生が5月に田植え体験をさせていただいた苗が大きく育ち、稲穂が実り、田んぼが黄金色に変わってきました。お米の収穫の時期を迎え、9月25日(木)に「未来ファームなつみ」の皆さんのお世話になり、5年生が稲刈り体験をしました。鎌を使っての手刈りと、足踏み脱穀機での脱穀を体験し、昔の農家の方の苦労を感じつつ、楽しんで充実した時間を過ごすことができました。ご飯にさせていただくのが楽しみです。



図書カードの寄贈、ありがとうございます

湖南地区更生保護女性会様より、1万円分の図書カードを寄贈していただきました。ありがとうございます。子どもたちの読書活動の推進のために、有効に使わせていただきます。ご来校の際に、子どもたちの様子についてお話しさせていただきました。日頃、通学路で子どもたちの見守りもしてくださっており、子どもたちと言葉を交わすのが楽しく、元気をもらえとおっしゃっていました。これからも子どもたちには元気に挨拶をして地域の方とつながってほしいと願っています。



持久走記録会について

本校では、体育科の持久走の学習において、他と比べるのではなく、子ども一人ひとりが目標タイム等を設定し、練習を重ねていく中で伸びを評価することを重視してきました。しかし、学習指導要領では、「生涯にわたり運動・スポーツに親しめるようにすること」が目標とされています。「無理のない速さで、一定のペースで走る」ことが示され、低・中・高学年ごとに目安の時間が定められています。

よってこれまでの本校の取り組み方を見直し、次年度以降は学習指導要領に沿う形で取り組むことを考えています。また、体育の授業内であれば、限られた教職員で安全に十分配慮した指導が可能であることから、学校行事ではなく、各学年で授業の一環として実施する方向です。

今年度は、これまでの本校の持久走記録会を大きく変えていく移行期として、3年生以上は走る距離を自分で選択する形にして実施しますので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。参観していただくこともできます。詳細は後日お知らせいたします。